

# ガンコ親父の

昔々、森の中で動物たちは平和に暮らしていた。しかし、最近危険な猟犬を従えたハンター達を見かけるようになったと、警戒情報なども出されるようになってきた。

そんなある日、「やあ、子猫ちゃん、久しぶりばい。元気にしとったね？」と、赤毛の狐は松ぼっくりと戯れていた猫に挨拶をした。「こんにちは狐さん。相変わらずの毛並みで、本当にお美しいですね」猫に褒められた狐は「そげんでもなか」と照れながらも、まんざらでもなさそうだった。「最近は何物が減ってきましたよ。僕は松ぼっくりに飛びかかるくらいに練習しかしていないので狩も下手です。だから良い獲物が取れませんが、僕と違って狐さんは賢いから、獲物を取るのにも苦労はしないんですよ？」「まあ、君が思うほどは上手じゃなかつてん、やっぱり俺は生まれつき知能指数が高かけんね。君と違って森の中で生き抜く方法などもたくさん知ってる」と鼻高々で一気に入ましく立ってた。

「もし危険に出くわしても、解決策をいっぱい知ってるけん、全然心配しとらんばい。子猫ちゃんはどうけん？」と猫に質問をした。猫は「お母さんから何か危険なことにあつたらとにかく木に登るように」とだけ教えられました」と答えた。

「まあ、それは大切なことかもしれんけど、こんな目まぐるしく変わる時代やけん、危険なことにはもっと柔軟に対処できないかん。俺は少なくともその対処法に関しては、百とはいわんくらい知ってるたい。相手を畏にはめる高度な技も知ってる」と妙に真面目な表情で「よし、俺の知恵袋に入っている役立つことをいくつか教えてあげよう、時代遅れの哀れな子猫ちゃん」と得意になつて喋りはじめた。

話すことに夢中になつていた狐の後ろに現れたのが猟師と猟犬たちだった。「しめしめ、なんてラッキーな日だ。めっちゃ高く売れる赤毛の狐に出会えるなんて」と猟師は大喜びで、「みんな、かかれ」と犬たちに合図をした。

危険を察知した猫は近くにあつた木にサツと駆け登つたが、下を見るとまだ狐は逃げ出せていなかった。「狐さん、早く知恵袋を開いてすぐ逃げなくちゃ！」と猫は叫んだが、どのように逃げるかを迷っているうちに狐は捕まってしまったのだ。

木に登れない猟犬たちは猫をすぐに諦め、猟師は赤毛の狐に満足しながら引き上げた。猫は母親から教えてもらった一つの逃げ方しか知らなくて逆に助かつたのだ。

松次郎は久しぶりに孫の博喜に話を聴かせてあげた。博喜は大好きな猫が出てくる話に大喜びだった。話終わって、松次郎は博喜に「お母さんが言ったことはしっかりと聞かなくてはいけないよ」と諭した。博喜はそれを守つてましたとばかりに「お母さんがこれをお祖父ちゃんに」と、『しまっちゅ伝蔵』を松次郎に差し出した。「ひゃー、ごんだけ。博喜、偉いぞ。それが一番大切」と言つて松次郎は博喜の頭をぐりぐり撫でた。

「やっぱり百の土産よりもこの一本。さあ、今夜は宴会じゃ。母さん、酒の肴はあるか？」松次郎の声が響き渡つた。



奄美黒糖焼酎  
しまっちゅ  
伝蔵  
でん  
ぞう

常圧蒸留

昔ながらの手造り  
こだわり焼酎  
喜界島の肥沃な大地の恵と豊かな自然の中で、永年の伝統に受け継がれた製法でじっくりと醸しあげた「しまっちゅ伝蔵」黒糖焼酎の味を全面に出し昔ながらのkokのある味と香りです。



喜界島酒造株式会社  
鹿児島県大島郡喜界町赤連2966番地12  
TEL 0997(65)0251



25度  
好評発売中

2009年10月喜界島は「日本で最も美しい村」連合に選ばれ、加盟しました。喜界島酒造は、この活動を応援しています。



喜界町  
鹿児島県

# 「百より」に乾杯!!

<http://www.kurochu.jp> お酒は20歳になってから。お酒は楽しく適量を。飲酒運転は法律で禁止されています。妊娠中や授乳期の飲酒はお控えください。